

カスパーゼ-1

Cat. No. EXWM-4211

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 哺乳類の単球から。この酵素は、炎症性カスパーゼのファミリーの一部であり、ヒトではカスパーゼ-4 (EC 3.4.22.57) およびカスパーゼ-5 (EC 3.4.22.58) を含み、マウスではカスパーゼ-11 (EC 3.4.22.64)、カスパーゼ-12、カスパーゼ-13、およびカスパーゼ-14 を含みます。N末端の前ドメインにカスパーゼリクルートメントドメイン (CARD) を含み、プロカスパーゼの活性化に関与します。プロインターロイキン-1 β (pro-IL-1 β) を切断して成熟したIL-1 β を形成し、これは炎症の強力なメディエーターです。また、インターフェロン- γ 誘導因子としても知られる炎症促進性サイトカインIL-18を活性化します。Ac-Tyr-Val-Ala-Asp-CHOによって抑制されます。カスパーゼ-11はマウスにおけるカスパーゼ-1の活性化に重要な役割を果たし、一方カスパーゼ-4はヒトにおけるその活性化を強化します。ペプチダーゼファミリーC14に属します。

別名 インターロイキン1 β 換酵素; プロテアーゼVII; プロテアーゼA; インターロイキン1 β 前体プロテイナーゼ; インターロイキン1 β 換酵素; インターロイキン1 β 換エンドペプチダーゼ; インターロイキン-1 β コンパターゼ; インターロイキン-1 β 換酵素; インターロイキン-1 β 前体プロテイナーゼ; プロインターロイキン1 β プロテアーゼ; 前体インターロイキン-1 β 換酵素; プロインターロイキン1 β プロテイナーゼ; ICE

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.22.36

CAS登録番号 122191-40-6

反応 P1の位置にAsp残基が密集に必要で、好ましい切断配列はTyr-Val-Ala-Asp+です。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。